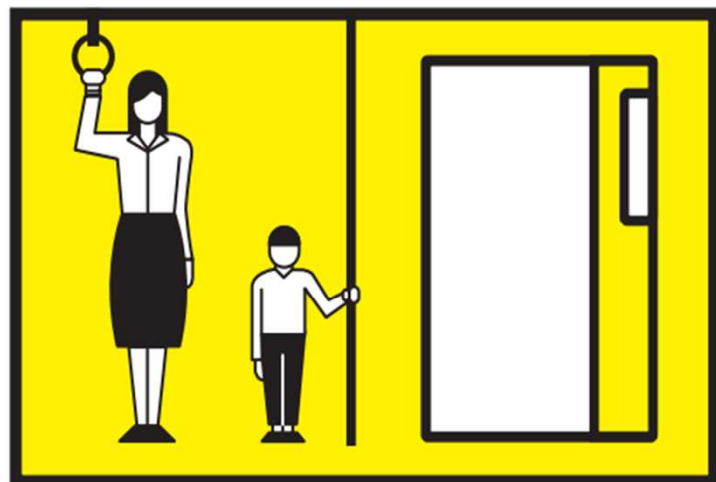
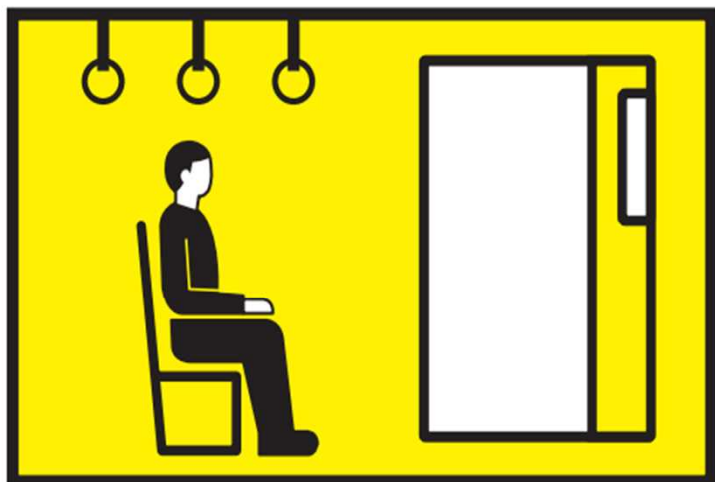




降りる時は 扉が開くまで

座ったまま

つかまったまま



バス走行中は手すり等にしっかりおつかまりのうえ、お降りの際はバスが停車してから移動してください。



走行中に、みだりに動いたり、つり革や手すりに掴まらかったりするのは危険です。



車両振動や急ブレーキ、その他予期せぬ振動等により転倒するおそれがあります。

車内事故防止啓発動画はこちら。

！ バスに乗ったら
座りましょう つかまりましょう



！ 走行している時は
座ったまま つかまったまま



！ 降りる時は
扉が開くまで
座ったまま つかまったまま



転倒事故から身を守る
～安全なバスの乗り方～



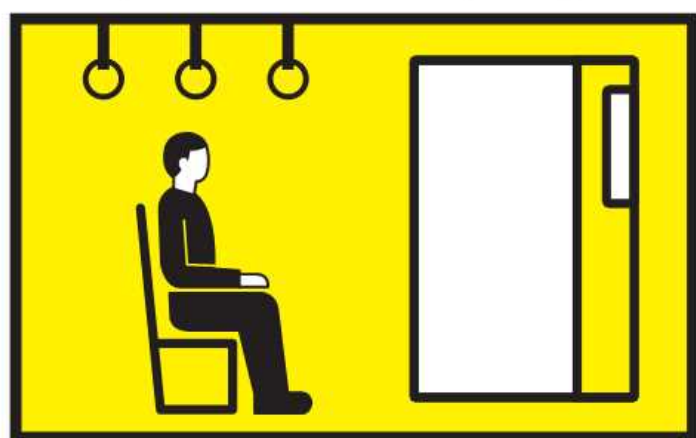
7月「車内事故防止月間」です

バス車内事故防止にご協力ください。

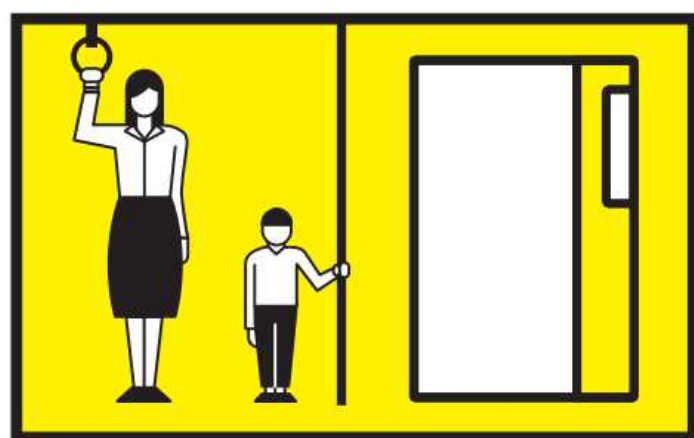


降りる時は 扉が開くまで

座ったまま



つかまったまま



7月は「バス車内事故防止月間」です

バス車内事故防止にご協力ください

バスは、プロのドライバーが運転する安全な乗り物ですが、衝突回避のためのやむを得ない急ブレーキなどにより、急停車することがあります。

こういった際、車内を移動していたり、つり革等につかまっていないと、転倒して骨折などの大きなケガにつながります。



国土交通省

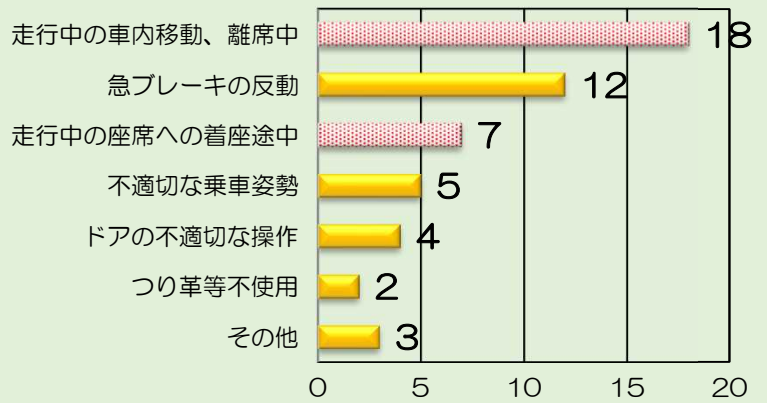
中部運輸局

Mission1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～

バス車内事故で多くの方が負傷されています

車内事故での負傷者数（历年推移・中部運輸局管内）

年	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
重傷(人)	8	6	8	7	10	9	5
軽傷(人)	67	61	50	45	44	45	64
合計(人)	75	67	58	52	54	54	69



- 乗合バスでは、バスの乗客がバス車内で転倒などで負傷する「車内事故」により、依然として多くの方が負傷されています。
- 車内事故は、乗客が**走行中に車内を移動**している時や、**座席から立ち上がる時**に、バスの車両の振動や急ブレーキにより多く発生しています。
- また、**着座途中**にバランスを崩して転倒し負傷する事故もみられます。

～安全な乗車のために～

バス走行中は手すり等にしっかりおつかまりのうえ、お降りの際はバスが停車してから移動してください。



- 立席・着座問わず、手すりやつり革等に必ずつかまり、走行中の移動はやめましょう！
- お降りの際も、バスが完全に停車しバスの扉が開くまで移動はお控えください。
- やむを得ず急ブレーキをかける場合があります。手すりやつり革にしっかりつかまる、座席に深く腰掛けるを心がけ、転倒及び横転防止に努めてください。

※車いす等をご利用の方の乗車については、バス事業者にご相談ください。

お年寄りやお体の不自由な方、妊婦の方、小さなお子様連れの方に席をお譲りください。

お年寄り、お体の不自由な方、妊婦の方および小さなお子様連れの方が、バス車内において事故に遭われますと、大きな怪我に繋がるおそれがあります。

上記の方を見かけられましたら、席をお譲りいただくなど、車内事故防止に向けた取組みにご理解ご協力をお願いいたします。



国土交通省では、動画を作成し車内事故防止啓発を行っております。是非ご覧頂き車内事故防止にご協力をお願いします。

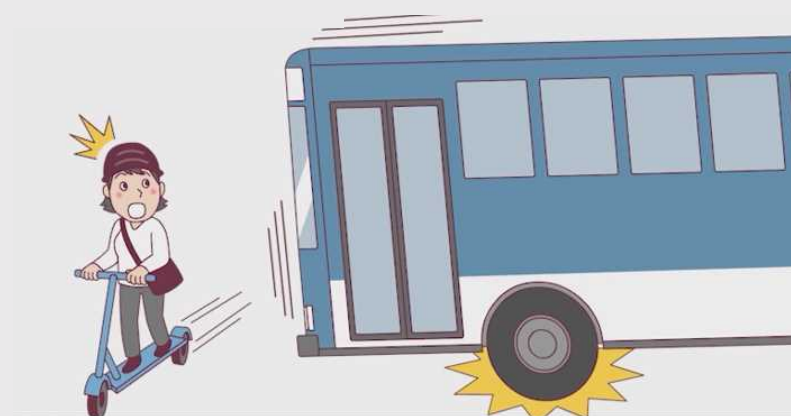
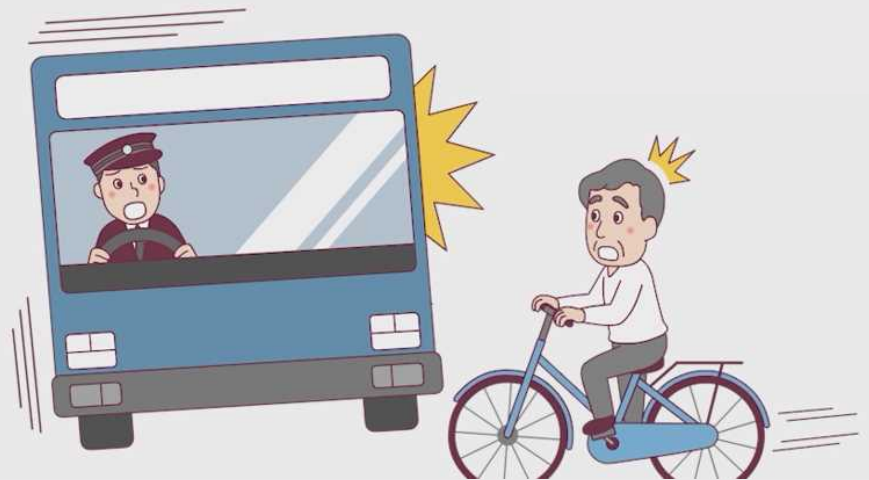
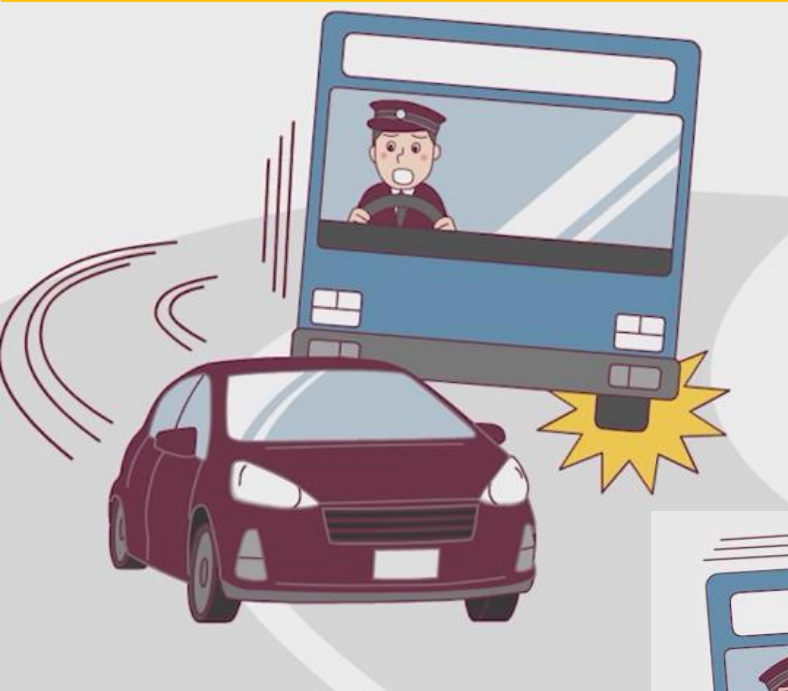
URL
https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html

二次元コード



無理と急が呼ぶ 車内事故！

バスへの無理な割り込み、急な飛び出し
は車内事故につながります。



国土交通省

中部運輸局

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～